

今年の秋祭りへの意気込み

そばの花畑を出現させるぞ！

筑波山麓秋祭りに「すそみろく編集部」も本格的に参加することになりました。

今年「そば畑の花見茶屋」を出します！つくば道、白井地区にある田んぼや畑を一時的に拝借し、そば畑が出現します。そばの花が咲くの



筑波山とそば畑



イラスト：山崎瞳 (筑波東中2年3組)

は種を蒔いてから40日ぐらいなので、9月27日に皆でそばの種を蒔きました。秋祭りに花の見ごろを迎えるそば畑に茶屋が出現！見渡すばかりのそばの花の中で、筑波山麓の湧水コーヒーや福来みかんのクッキーなど



イラスト：榎戸麻衣 (筑波東中2年2組)

100基、今年は鎌倉時代から続く名古刹普門寺の参道を照らす。つくば道から黒門を潜り赤門まで緩やかな坂道に幻想的な世界が出現する。荘厳な境内へのいざないを、現代の子供達の手で作られた光が導く。参道の奥には源信作の阿弥陀如来像を

このイラストの作者は誰？

わが「すそみろく」のメンバーで情報紙のデザインを担当している小沢陽子さんは、実はつくばではちょっと名の知れたプロのイラストレーターだ。その小沢先生のもとに、8月2、3日の二日間、筑波東中学校から5名の生徒が職場体験にやって来た。イラストレ



生徒たちにイラストの指導をする小沢さん

を販売します。当日はそばの花見もなかなか見ごたえがあると思います。筑波山とそば畑をバックに記念撮影なんかも、とてもステキでしょう。地鶏けんちゃんは500円、湧水コーヒーは300円、クッキーは200円を予定しています。

また、鮭川宅では昨年好評だったそば打ち体験を今年も実施します。師匠の指導で自分で打ったそばを食べる！これは最高です。どしどしご参加ください(要予約です)。

茶屋はなんと卒業製作？

「そば畑の花見茶屋」の屋台づくりは、筑波大芸術専門学群4年、片桐春菜さんが卒業製作で取り組みます。筑波山麓の手入れ作業で出た竹を有効活用した作品です。片桐さんは、椅子に興味があつて調べていたところ、間伐材の問題に行き当たりました。間伐材が山に切り捨てられていくことを知り、森林について調べた中で、森林で行われていた市民の積極的な取り組みが大切であると



竹林で作業中の片桐さん

安置する本堂や鐘楼がライトアップされ、700年の時空を超えた景観を映し出す。瓦の灯の点灯は11月7日午後5時から。懐かしい作品と再会出来るのも大きな楽しみでしょう。

山麓を馬で歩きたい！

ハーベストとは、収穫を意味するそうです。秋祭りにはびつたりの名前ですね。秋の澄んだ空気の中で、筑波山をはじめ周囲の山々を眺めながらの引き馬乗馬体験(500円)は、このガーデンならではの至福の時をもたらすのではないのでしょうか。

ーターとはどんな仕事かと興味津々の生徒たち、一日目は自己PRもかねて名刺作りで初挑戦。二日目は多くの人々に見てもらいたいと考えて、この「すそみろく」の秋祭り特集号に使用するイラストを描くことになった。小沢先生の熱心な指導と適切なアドバイスを受けて、5人は見事に作品を完成させた。小沢さんは5年前から職場体験の講師を引き受けている。苦勞と責任の重い仕事だが、生徒たちの生き生きと頑張る姿に胸が躍るといふ。現在中学生の彼らは将来のことはまだ未定だが、いつの日かきっとこのすそみろく、第二のイラストレーターが育っているにちがいない。楽しみにしたい。

思うようになり、竹林整備のボランティアにも参加しました。竹については、剣道をやっていることから、材として魅力を感じる一方、密集して間伐が大変であることや、今では使い道がないことを聞きました。竹の屋台を作ること筑波山周辺の竹林の整備や活用が活発になればうれしいと語っています。

3年越しの思いが実現！福来みかんのクッキーでおもてなし！



上野節子さん

思い起せば今から3年前のこと。地域情報紙としてスタートしたこの「すそみろく」第1号に、福来みかんのシフォンケーキのシフォンケーキが取り上げられました。このケーキの発案者は小沢地区在住の上野節子さん。ホームケイキングアドバイザーという肩書きを持つお菓子研究家です。あれから3年。上野さんは、「福が来る」という縁起のいい名前をもつ、このかわいみかんを使って、何かもつと作れないものかと試行錯誤を重ねてきたそうです。そして、ついに今秋、「福来みかんのクッキー」が完成しました。クッキーの生地には、乾燥させてフードプロセッサーでくだいた福来みかんの皮が混ぜ込んであります。クッキーのまわりにもグラニュー糖と



イラスト：榎田万里 (筑波東中2年1組)

ついに実現、あの「山麓オーケストラ」！

「すそみろく」お正月号で紹介したあの「山麓オーケストラ」がついに登場です。11月8日(日)午後、田井ミュージアムにて初演奏。ビートルズをはじめとするスタンダードをロックおじさんが緩く演奏します。乞うご期待！

秋のひととき(11月3日) 筑波山麓史跡めぐりで楽しもう！

筑波山は、太古の時代から神様として崇められ、関東一円から参拝者が集う数々の祭事が、ここすそみの田井地区で執り行われた。このため、農耕に係る数々の神社や仏閣が、各



福来みかんのクッキー



福来みかん

皮を混ぜたものをまぶしつけて、風味を増してあります。「シフォンケーキよりも手軽で、多くの人に長い期間味わってもらえる」と上野さん。秋祭りでは、「そば畑の花見茶屋」で販売の予定です。ぜひ、筑波の味「福来みかんのクッキー」をお試し下さい。

ドラム缶の石焼き芋登場！

竹を燃料にしてドラム缶で石焼き芋を焼いちやいます！アイデアマンの「にれ工房」山崎誠治氏がドラム缶の焼き芋器を製作中。そばの花見をしながらほかほかの石焼き芋いかがでしょう！「そば畑の花見茶屋」で販売します。

瓦灯りで普門寺参道を照らす！

柔らかな瓦生地に模様をくりぬいて焼いた瓦、それを3枚組合せて中に灯を燈す。木漏れ日のような光。田井小学校児童らが平成18年より3年間に渡り制作した最適な瓦の灯が

集落に今も現存する。ここを訪ねると心が癒されるといわれる注目地を郷土史研究家の、井坂敦實先生とともに訪ね、秋のひと時を楽しもう。コースは、普門寺から、神郡街道・つくば道を通って飯名神社へ。鮭川邸でそばの昼食後、蔵王神社、六所大神宮跡、茅葺き古民家六所の家、蚕影神社をまわって普門寺に戻る。会費1000円(昼食、資料代、保険代)／問「田井の里地域づくり愛好会」の森田源美まで
TEL&FAX 029-867-1122
〒300-4211 つくば市白井1966
申込みは、はがきまたはファックスで。住所、氏名、年齢、電話番号を記してください。

白滝道ウォーキングマップ完成！

筑波山麓の古い山道が復活、白滝まで全区間が歩けるようになりました。秋を探してゆっくりと歩いて下さい。マップは筑波ふれあいの里(宿泊棟)、平沢官衙遺跡案内所、北条岩崎屋、



カフェポستن、筑波山観光案内所、つくば駅案内所などで配布しています。